

令和3年度 みーる平針 事業報告

1 事業概要

障害者総合支援法のもと、利用者に対し生産活動及びその他の活動の機会を提供することにより、利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるような支援を目指した。また、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の発生状況を踏まえ、利用者が安心して安全に通い続けられるよう、新たに職員のPCR検査を継続的に実施する等、必要な感染予防対策を施した。

2 事業所運営

(1) 施設整備

コロナ禍におけるリモート業務の推進など社会変革が進む中、みーる平針においても情報通信体制を強化するため、所内無線 LAN ルーターの入れ替えを行った。また、職員体制の変更に伴い情報共有体制を強化するため、業務連絡に使用するインカムの導入を行った。

(2) 職員構成

() 内は、非常勤職員の外数

管理者 ※	サービス 管理責任者	目標工賃 達成指導員	職業指導員	生活支援員	計
(1)	1	1	1 (3)	1	4 (4)

※ はあと平針の管理者と兼務。

(3) 会議

会議名	内容	時期	構成
法人運営会議	各事業所の情報共有と法人の運営課題についての議論を目的とした会議を行った。	毎月1回	理事長 常務理事 各管理者
職員会議	作業面・生活面の支援、事業所の運営全般について連絡協議した。	毎月1回 他随時	全職員
ケース会議	利用者の支援上の諸課題（緊急対応）等に対する検討を行った。	随時	各担当職員
	全利用者を対象に、個々の支援目標の検討及びまとめ、就労評価を行った。	9・2月	全職員
虐待防止及び 身体拘束等適正化 検討委員会	虐待の防止、支援力の向上を目的として、本委員会の規程及び方向性の確認や、事業所の課題を共有するとともに、活動の目安となる指針を策定した。また、全職員対象としたセルフチェックも実施した。	7月	管理者ほか 委員2名

ハラスメント防止委員会	ハラスメント防止とその適切な対応を図ることを目的として、本委員会の規程及び方向性の確認をした。また、全職員を対象としたセルフチェックを実施した。	10月	管理者ほか 委員2名
感染症対策会議	新型コロナを念頭に置き、業務継続計画(BCP)の見直しと周知共有を実施し、リスクに備えた。	5月	全職員

(4) 職員研修

月	研修名	場所	参加職員
5月	令和3年度 報酬改定説明会 強度行動障害支援者養成研修	オンライン 西区	サービス管理責任者 目標工賃達成指導員
7月	会計基礎研修 虐待防止研修	オンライン オンライン	所長 サービス管理責任者
9月	サビ管・管理職研修 経営者・施設長セミナー(労働災害)	オンライン オンライン	サービス管理責任者 所長
11月	労務管理研修 地域共生社会研修	オンライン オンライン	所長 職業指導員
12月	精神障害研修	東区	目標工賃達成指導員
1月	福祉サービス苦情相談研修	オンライン	サービス管理責任者

※ 新型コロナの流行に合わせて集合研修への参加を中止した期間あり。

(5) 年間計画

月	行事	行事内容	防災計画
4月	花見	近くの公園へ花見に出掛け、 所内で花見団子を食べた。	消防用設備 機器点検
5月	フットベース交流会(中止)		避難訓練(火災)
6月			消防用設備 自主点検
7月			
8月	法人夏祭り(中止)		建物 自主点検
9月			情報伝達訓練、防災対策会議 避難訓練(地震)
10月	日帰りバス旅行(中止)		消防用設備 総合点検
11月	デザートビュッフェ (バス旅行代替)	所内にて、バイキング形式で 利用者が好きな洋菓子・和菓子 を選び、味わった。	
12月	仕事納め昼食会	一年間の作業を労い、いつも より豪華な食事を味わった。	避難訓練(火災)

1月	初詣 成人の祝い	近くの神社に参拝した。 二人の新成人を囲み、会食や 花束・記念品贈呈等で祝った。	消防用設備 自主点検
2月			避難訓練（地震）
3月			防災対策会議

※ 新型コロナの蔓延状況を鑑みて、多くの行事を中止または代替実施とした。

(6) 健康管理

利用者の健康保持を目的に、体重測定を毎月行った。また、個々人の基礎疾患や健康課題、配慮事項について、情報交換の機会を保護者と積極的に持つようにした。これらにより、事業所内において、より安全かつ、健康に配慮した支援をすることができた。

加えて、年度末には毎月の体重測定結果を基に、体格指数（BMI）を算出したグラフを各利用者に配布し、ご家庭での健康管理に役立てていただけるようにした。

3 支援概要

利用者の人権と個性を尊重し、それぞれの障害程度や特性に応じた支援を行うことで、地域社会における社会的自立を目指した。また、利用者のニーズに基づく個別支援計画を作成し、職業指導・生活支援という事業所のもつ支援機能を積極的に活用した。

職業指導においては、利用者個々の就労・作業適性について、それぞれの持つ能力や強み、支援が必要な領域について客観的な評価を行った。支援目標を達成するために作業指導を展開し、各利用者が主体的かつ積極的に参加することでやりがいを持てるようにした。活動を通して、就労を続けるうえで必要な社会性の維持・向上も目指した。

生活支援においては、活動のなかで個々の持つADL（日常生活動作）の維持・向上を目指した。また、心身の状況に応じた支援と並行し、利用者同士の心地よい関わり合いが持てるように働きかけ、一人ひとりが楽しみ、より落ち着いた状態で過ごせるように工夫した。なお、新型コロナの蔓延に伴い、利用者個々を取り巻く生活が大きく変化したため、心のケアについても配慮しながら支援にあたった。

(日課)

8:30 ～ 8:40	9:00 ～ 9:10	9:10 ～ 12:00 (10:00～11:00)	12:00 ～ 13:00	13:00 ～ 15:30 (14:00～15:00)	15:30 ～ 16:00
職員 朝礼	朝 礼	作(休 業)憩	昼 食 休 憩	作(休 業)憩	清 掃 終 礼

※作業休憩は()内の時間帯に10分ずつローテーション方式で取った。

※新型コロナの影響による作業不足期間中は、作業活動の代わりに余暇活動を提供した。また、感染防止対策として、密集を避けるために活動単位を2グループに分けて別室稼働させ、昼食についても時間差とした。

4 作業活動

「井桁堂 株式会社」「エフワイ成型 株式会社」を主な取引先として作業を展開した。自主製品の「ゴミ袋セット」を含め、新型コロナウイルス感染症の影響が取引先に波及し、受注が大幅に減り、不安定な状況が続いた。

その中で、昨年度末から開始した自動販売機での「飲料販売」は安定した作業提供と売上となった。また、年度途中からは「株式会社ルーツ」を取引先とし、遊戯機の解体・リサイクル作業の取り組みを始めた。部品ごとの仕分けや素材別に細かく分別するため、新たに電動工具も導入し、利用者にも扱えるように支援した。

利用者及び職員には白衣とマスクの着用、手洗い及び消毒を徹底し、作業に関わる全員が衛生意識の向上と維持・管理に努めた。密を避けるために多目的室も活用するなどして環境整備にも配慮した。併せて、工賃の向上を図るために、取引先との受注調整や営業活動を行った。

作業	内容	取引先
菓子作業	菓子の袋入れ加工	井桁堂 株式会社
ガス器具作業	部品の組み付け、検品	エフワイ成型 株式会社
DM作業	部品の封入、チラシの折り込み	有限会社 YSK サービス
解体作業	遊技機等の解体、分別	株式会社 ルーツ
飲料販売	自動販売機での飲料販売、在庫管理、補充	地域など
ゴミ袋セット販売	各種ゴミ袋をパッケージした粗品作り	天白区役所

5 平均工賃

10,792 円／月（前年度：15,906 円）… 最高：13,697 円／月、最低：5,217 円／月

6 その他

(1) 体験実習、施設見学

(延人数)

体験実習	天白養護学校中等部、南養護学校高等部、在宅	3名
施設見学（本人）	天白養護学校高等部、在宅	1名
施設見学（保護者）	天白養護学校高等部、在宅	3名

(2) 広報活動

法人ホームページ、事業所紹介パンフレット及び事業所外掲示板の活用や季刊誌の発行を通じて、地域社会に広く当事業所の活動を伝えられるようにした。

7 利用者状況

(1) 入退所 (定員 20 名)

(月末時点の人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者数	21	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22
利用実績	21.0	20.9	21.0	20.4	20.4	20.9	20.9	21.3	20.8	21.8	21.2	21.2

※ 利用実績の年間平均出席人数は、21.0名 ※ 開所日数：241日、利用率：97.5%

※ 利用実績、年間平均出席人数及び利用率は小数点第2位以下切り上げ

(2) 年齢別

(令和4年3月31日現在)

年齢 性別	年齢									計	平均年齢
	～20	21～ 25	26～ 30	31～ 35	36～ 40	41～ 45	46～ 50	50～			
男性	2	0	1	3	0	2	1	2		11	37.3
女性	0	1	1	2	2	2	1	2		11	40.3
計	2	1	2	5	2	4	2	4		22	38.8

※ 最高年齢は55歳(女性)、最低年齢は20歳(男性)

(3) 障害別

(令和4年3月31日現在)

障害 性別	障害			
	知的障害	ダウン症	自閉症	てんかん
男性	11	1	6	3
女性	11	1	1	2
計	22	2	7	5

※ 22名中、重複障害者は13名

(4) 通所期間別

(令和4年3月31日現在)

期間 性別	期間						計
	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～7年 未満	7～10年 未満	10年以上	
男性	1	1	1	0	1	7	11
女性	0	0	0	2	1	8	11
計	1	1	1	2	2	15	22

* 通所平均期間は11.7年、最高期間は30年(男性)である。

(5) 障害支援区分別

(令和4年3月31日現在)

区分 性別	区分				計
	未判定	区分3	区分4	区分5	
男性	1	3	6	1	11
女性	0	7	3	1	11
計	1	10	9	2	22